

学校教育目標・学校経営の重点

【教育目標】

●学校教育目標

豊かな人間性の啓発

—豊かな自己を拓く New Frontier Spirit—

●学校経営の基底

信頼と敬愛

●目指す生徒像

生命を尊び、互いに敬愛し、協力し合う生徒(徳)

～協力し合う人～

広く知識を求め、創意と工夫力を備える生徒(知)

～創りだす人～

豊かな情操を備え、美しさを追求する生徒(情)

～美しさを求める人～

進取の気性と強い意志力で、試練に立ち向かう生徒(意)

～たくましく生きる人～

健康な心身を持ち、活力に富む生徒(体)

～鍛える人～

●本校教育活動に反映させたい「求める生徒像」

(1)自ら進んで学習し、適切な判断できる生徒

- ・ 真理を求め、自分を厳しく鍛える生徒→知識欲、積極性
- ・ 向上心をもって意欲的に学習する生徒→意欲、向上心
- ・ 学んだことを活用し、応用できる生徒→思考力、判断力、活用力
- ・ 自分の考えを発表できる生徒→表現力

(2)豊かな人間性と社会性を身につけた生徒

- ・ お互いに尊重し、協力する生徒→自他の尊重、協力性
- ・ 中学生にふさわしい常識を身につけ、節度ある行動がとれる生徒
→挨拶、公共心、規律性
- ・ 自分自身のことはもちろん、集団の一員として周囲へのはたらきかけや配慮ができる生徒
→生命尊重、思いやり、はたらきかける力
- ・ 時と場所に応じ、適切な言動ができる生徒→自制心、コミュニケーション力
- ・ 仲間とともに自らを成長させることができる生徒→向上心

【学校経営の方針と重点】

本校は、西岡地区の急速な人口の増加に基づく、地域住民の強い要望や期待に応えて、昭和56年3月26日、澄川中学校と羊丘中学校から分離して開校した、札幌で64番目の中学校である。開校以来、「教育は人を育てる営みである」という考え方と開拓の精神を基底として、「豊かな人間性の啓発」及び「豊かな自己を拓く」ことを本校の教育理念としてきた。つまり、生徒がもつ能力や学力、特性をより一層伸ばすこと、そして、将来の社会人、職業人としての基礎を築くことが本校の教育の基本的ねらいである。

更に学校は教えるものと教えられるものがお互いに高め、高まり合う関係を保つこと、つまり、教師がその指導力の向上と、自らの人間性を高めることに努め、生徒とも保護者とも信頼に基づく人間関係を築き「信頼される学校づくり」を進めることが大切である。そのことを開校以来「信頼と敬愛」と表現して学校経営の基本としている。

それらのことをふまえて、次の学校経営の4つの柱と重点を掲げている。

【今年度の重点課題】

- 1.『学ぶ力』の育成
- 2.『豊かな心』の育成
- 3.『健やかな身体』の育成
- 4.『特別支援教育』の推進
- 5.教職員の指導力の向上と同僚性に基づいた協働体制
- 6.信頼される学校の創造

【学校経営の基になっている願いや期待】(3つの喜び)

生徒にとって	「この学校で学ぶことが出来て良かった。もっと頑張ろう！」
保護者・地域にとって	「この学校があって良かった。いろいろな面で協力したい！」
教職員にとって	「この学校に勤めて良かった。更に、努力してみよう！」

札幌市立西岡中学校

〒062-0033 札幌市豊平区西岡3条12丁目1番1号

TEL (011) 583-3560 FAX (011) 583-1216